



米国発表報道資料意識

## アドビシステムズ社が 2002 年会計年度第 1 四半期決算結果を発表

売上、営業利益とも当初目標を達成  
Acrobat 関連ビジネスの売上は年率 20% 増

### 【2002 年 3 月 18 日】

米国カリフォルニア州サンノゼ発 (2002 年 3 月 14 日) (NASDAQ:ADBE) Adobe Systems Incorporated (本社: 米国カリフォルニア州サンノゼ 以下アドビシステムズ社) は本日、2002 年度第 1 四半期 (2001 年 12 月～2002 年 2 月期、2002 年 3 月 1 日をもって終了) の決算結果を発表しました。

今四半期の売上は 2 億 6,790 万米ドルとなりました。前年同期実績は 3 億 2,900 万米ドル、前年度第 4 四半期実績は 2 億 6,450 万米ドルでした。進行中の研究開発の取得、営業権の償却費、知的財産の取得、投資損益を除く今四半期の 1 株当たり純利益は速報値で 0.22 米ドルでした。今四半期の売上および 1 株当たり純利益の速報値は、12 月に同社が示した当初目標を達成しました。

アドビシステムズ社 社長兼 CEO であるブルース チゼンは、「Acrobat® の売上が堅調に伸びたため、今四半期は順調でした。電子フォーム市場で当社に主導権をもたらすであろう Accelio Corporation の買収が進行中であることも含め、われわれの掲げる市場戦略は著しい発展を見せています」と述べています。

今四半期の GAAP (米国における会計原則) に基づく純利益は 4,980 万米ドルでした。前年同期実績は 6,980 万米ドル、前年第 4 四半期は 3,430 万米ドルでした。今四半期における進行中の研究開発の取得、事業再編等にもなう費用、営業権の償却費、知的財産の取得、投資損益を除く純利益は 5,280 万米ドル、前年同期実績は 8,360 万米ドル、および前年第 4 四半期は 4,870 万米ドルでした。

2 億 4,520 万株の加重平均株数に基づく GAAP に従った今四半期総発行済み株式 1 株当たりの利益は、0.20 米ドルでした。前年同期の 2 億 5,360 万株に基づく同利益は 0.28 米ドル、前年第 4 四半期の 2 億 4,340 万株に基づく同利益は 0.14 米ドルでした。

今四半期における営業権の償却、知的財産の取得、進行中の研究開発の一括償却、および事業再編等にもなう費用を除く営業利益は、速報値で 7,270 万米ドルでした。前年同期実績は 1 億 1,900 万ドル、前年第 4 四半期は 6,790 万ドルでした。売上に対する営業利益率は今四半期が速報値で 27.1%、前年同期実績が 36.2%、前年第 4 四半期が 25.7%でした。

アドビシステムズ社は 2002 年度第 2 四半期について、顧客に影響を及ぼす世界的な市場の変動がなく、Accelio Corporation (アクセリオ・コーポレーション、本社: カナダ・オタワ、以下アクセリオ社) の買収手続きが 4 月に完了する場合、売上 3 億 500 万から 3 億 2,500 万米ドル、売上総利益率 92%、および営業利益率は速報値で 28% から 29% とすることを目標にしています。売上に対する費用比率の項目別目標は以下の通りです。

研究開発費 - 約 19 ~ 20%  
販売・マーケティング経費 - 約 34 ~ 35%  
一般管理費 - 約 9% ~ 10%

さらに、アドビシステムズ社は同社の株式数について、アクセリオ社の買収を考慮し、2002年度第2四半期は2億4,700万から2億4,900万株の範囲にすることを目標にしています。営業外収益については四半期当たり約300万から400万米ドルを、実行税率については32%を目標としています。2002年度第2四半期総発行済み株式1株当たり利益は、速報値で0.24から0.27米ドルを目標にしています。

アドビシステムズ社取締役会は、今四半期の現金配当は、1株当たり0.0125米ドルで、2002年3月25日現在登録されている同社の株主に対し、2002年4月8日付けで支払われると発表しました。

本プレスリリースは、実際の業績を大幅に異ならせる可能性のあるリスクと不確実性を内包した将来的観測を含みます。そのような原因となり得る要素として、以下が挙げられますが、必ずしもこれらに限られるものではありません。

- ・ 近年経済の停滞に影響を受けている米国、欧州、日本およびその他の地域を含むビジネスを行っている主要地域での経済状況の悪化
- ・ 2001年9月11日の米国での惨事にともなう継続的な需要減退
- ・ 新製品や既存の製品の新しいバージョン出荷の遅延
- ・ 企業の経費削減にともなうプロフェッショナル向けコンテンツ制作およびレイアウト製品に対する需要減退
- ・ 新製品やアップグレード製品が市場に受け入れられない可能性
- ・ 買収による事業統合の遅延およびそれにともなう問題
- ・ 主要競合他社の新製品の市場投入
- ・ アプリケーションソフトウェアおよびプリンタ需要の低迷
- ・ 世界的なパーソナルコンピュータおよびプリンタの売上の低迷、および売価の下落
- ・ ロイヤリティ契約の内容の変更
- ・ OEMによるプリンティング事業の整理統合
- ・ 製品の過渡期にあることによるプリンティングビジネスの弱さ
- ・ 業界の新しい物流およびビジネス、情報配信モデルへの移行
- ・ 株式投資にともなう市場リスク

詳しいリスクと不確実性については、Form10-K中の2001年決算報告書および2002年に提出されるForm10-Q中の四半期決算報告書などを含む証券取引委員会（SEC）資料をご参照下さい。アドビシステムズ社はこれら将来的観測を更新する義務を負うものではありません。

### アドビ システムズ社について

アドビ システムズ社は、1982 年に創立された、米国カリフォルニア州サンノゼに本社をおくソフトウェア会社です。これまで、Web、印刷、ネットワークパブリッシングで定評のある様々なソフトウェアソリューションを提供し、多くの業界賞を受賞してきました。その優れたグラフィックデザイン、イメージング、映像動画、そしてオーサリングのためのツールは、豊かな視覚効果にあふれ、信頼度の高いコンテンツの制作、管理、配信を可能にします。アドビ システムズ社は米国を本拠とする主要なパーソナルコンピュータ用ソフトウェア会社で、2001 年の年商は 12 億ドルを超えています。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。詳細な情報は、Web サイト [www.adobe.co.jp](http://www.adobe.co.jp) でご覧いただけます。